年度	活動内容
平成 17 年度	障がい者自立生活体制検討会立ち上げ
平成 25 年度	精神障がい者地域移行支援部会として立ち上げ
	•研修会
	(ピアサポート活用、精神障がい者の地域生活支援、退院支援・地域支援の実践報告
	他)
	•事例検討
	・普及啓発の取り組み(病院・事業所等専門職、地域住民、当事者)
平成 26 年度	・全体研修「地域移行支援のポイントについて」開催
	•地域相談支援(地域移行支援、地域定着支援)制度説明
	・高齢入院患者地域支援事業の対象ケースの事例検討
	-広報誌発行
平成 27 年度	・本人の移行に沿った退院支援の促進
	(医療機関の協力により長期入院患者への意向調査実施)
	・退院に向けての理解の促進
	(部会内で研修会開催、グループワークによる意見交換実施)
平成 28 年度	・長期入院精神障がい者の地域移行に関する意向調査の結果分析及び政策提言内
	容の検討
	・研修会の企画、実施
	・関係施設との情報交換等による社会資源の整理や情報誌作成等
	・区毎のロードマップの進捗報告
平成 29 年度	・退院支援ポスター及びリーフレットの作成
	・普及啓発研修の企画、開催
	(障がい者の相談支援体制・制度・サービス、宇城圏域の地域移行支援の取り組み)
	・地域移行支援の理解促進(グループワークによる意見交換)
	・区毎の地域移行支援に向けた活動、進捗確認
平成 30 年度	・退院支援ポスターの掲示及びリーフレットの活用、効果及び活用状況調査
	・相談支援事業所との交流
	・全体研修の企画・実施
	・区毎の地域移行支援の取り組みと進捗報告
令和元年度	・地域相談支援(地域移行支援・地域定着支援)のサービス利用促進に向けた検討
	・退院支援ポスター及びリーフレットを活用した制度の啓発 ・相談支援部会との合同研修会の開催
	・全体研修の企画・実施
	・区毎の地域移行支援の取り組みと進捗報告
 令和 2 年度	従来の熊本市精神障がい者地域移行支援部会を「全体部会」として、年 4 回計画し、
11年4十尺	佐木の熊本川精神障がい省地域移行文援命去を「主体命去」として、中4回計画し、 区毎の連絡会を「区部会」と位置づけ、地域(区)の課題抽出、具体的な計画・取り組
	み、顔の見える連携づくりを目的に年3~5回開催を計画。
	〇全体部会
	シェドロス
	・各区部会の活動報告
	・地域移行支援ケースの進捗状況報告、課題の検討
	THE TRANSPORT OF THE PROPERTY IN THE PROPERTY

	取り組みについては、令和3年度に継続
	〇区部会
	・ニュースレターの発行
	・地域移行支援の取り組みと進捗報告
	・新型コロナウイルスの影響により、開催できない区もあったが、3区計4回開催。
	・取り組みについては、令和3年度に継続。
令和3年度	〇全体部会
	年3回(9月、12月、2月)実施
	※第1回全体部会に関しては新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止。
	(内容)
	•地域移行支援基礎研修
	・各区部会の報告
	●地域移行支援事例報告
	・地域移行支援利用者の体験談発表
	・グループでの意見交換等
	〇区部会
	○ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
	(内容)
	・ケース検討会
	・社会資源マップ
	・地域アセスメントの実施等
一 令和 4 年度	○全体部会
71445	○ ± 1本 叩云 年 4 回(6 月、9 月、12 月、2 月)実施
	(内容)
	・地域移行支援基礎研修
	・各区部会の報告
	・ピサポーターとの意見交換
	・地域移行支援の流れについての共有
	〇区部会
	※各区で独自の取組みを実施。一部抜粋して記載。
	(内容)
	・ケース検討会
	・地域アセスメント等
令和5年度	〇全体部会
	年4回(6月、9月、12月、2月)実施
	(内容)
	・地域アセスメントの報告
	・地域移行支援の活用の実際と感想についての講話
	・熊本市地域移行支援サービス利用マニュアル作成について
	〇区部会
	※各区で独自の取組みを実施。一部抜粋して記載。
	(内容)

	・ケース検討会
	・研修会の実施
	・地域アセスメント後の意見交換等
令和6年度	○全体部会
	年 4 回(6 月、9 月、12 月、2 月)実施
	(内容)
	・居住支援協議会についての研修
	・医療機関訪問(地域移行支援、ピアサポート活用事業についての説明)実施に係る説明とお願い
	・地域アセスメント後の取組みについて
	○区部会
	※各区で独自の取組みを実施。一部抜粋して記載。
	・ケース検討会
	・医療機関向けアンケート結果についての意見交換
	・精神科病院入院中の患者様を対象としたバスツアーの企画
	・ピアサポーターの動画鑑賞会の実施等